

行列ができた店舗もありました

表紙 クラウンメロンを使ったスイーツが勢ぞろい!

6月17日、静岡県温室農業協同組合クラウンメロン支所で「クラウンメロンマルシェ102」が開催されました。移動販売業などを展開する市内業者が同支所と協力して行われたもので、本市でクラウンメロンの温室栽培が始まってから100年を記念して開催した令和3年から、今回で3回目。クラウンメロンを使ったスイーツやジュースなどが販売され、多くの家族連れなどでにぎわいました。



県の品評会に出品されたメロンをぜいたくに使ったクレープやかき氷なども販売されました



天候にも恵まれ、冷たいスイーツやジュースが大人気!



守ろう!美しい浅羽海岸

7月2日、「浅羽海岸クリーン作戦」が行われました。

郷土の海の保全や利活用、魅力発信につなげていくため、「海のにぎわい創出プロジェクト」の一環として開催。地域の住民や企業、海岸利用者、各種団体、浅羽中学校の生徒など約700人が参加し、朝のさわやかな風を感じながら海岸でごみなどを拾い集めました。



大きなごみも協力して運搬



大好きな海をきれいにしようね

大学の学食で市学校給食コラボメニュー

6月22・23日、静岡理科大学の学生食堂で市の学校給食とコラボレーションしたメニューが提供されました。

懐かしの給食を食べることで、大学生にも食への関心を高めてもらおうと実施したもので、袋井産の野菜を豊富に使用。各日40食限定のメニューが両日も売り切れになるほどの人気ぶりでした。



22日はソフト麺が登場!



懐かしの給食の味はいかが?

「日本城郭協会大賞」受賞おめでとうございます

久野城址保存会が「日本城郭協会大賞」を受賞しました。この賞は、城郭文化の振興に貢献した団体・個人を顕彰することを目的に日本城郭協会が令和4年度に創設したものです。

久野城址保存会は、同城址の指定史跡化を目指し、昭和52年に地元有志のみで結成された市民団体で、同城址は昭和54年に市指定文化財に認定されました。その後は、同城址の地域のシンボル化を目指し、法人会員を募集するなど組織の強化・拡大を図ったほか、毎年開催している地元・袋井北小学校の6年生を対象とした「久野城教室」、広大な城址内の草刈りなど、長きにわたる地道な取り組みが評価され、受賞に至りました。



東から見た久野城址



左から山田宗男さん(顧問・前会長)
高橋正則さん(会長)
安間和由さん(事務局長)



市民の審査で最優秀賞を決定！

6月8日、静岡県温室農業協同組合クラウンメロン支所で「第10回クラウンメロンクリームパンコンテスト」の最終審査が行われました。

パン・菓子のクリームを製造する大阪府の会社が主催したもので、第10回を記念してクラウンメロン支所で開催。同社製のクラウンメロンクリームを使うことが条件で、全国のベーカリーやパンメーカーなどから41点の応募があり、書類での1次審査、実物を試食する2次審査を通過した3点が最終審査に進みました。



3種類のパンを食べ比べ



アイデア・味・見た目・食感を審査して投票！

最優秀賞「恋するクラウンメロン」



カカオのこくとメロンの甘い香りの絶妙な相性が高く評価された一品

事前に応募した市民50人が審査員を務め、作品のコンセプトや思いを聞いた後にパンを試食し、最優秀賞にふさわしい1点に投票。その結果、岐阜県のパン工房が手掛けた「恋するクラウンメロン」が最優秀賞に輝きました。



日本の風情あふれるどまん中茶屋で撮影

日本の七夕を浴衣で楽しもう！

7月1日、袋井国際交流センターで七夕をテーマとした交流イベント「浴衣をきて七夕まつりを体験しよう！」が開催され、ブラジルやベトナム、台湾など5か国・38人の外国人が参加しました。



どんな願いごとを書こうかな



思いを込めて 笹に短冊を結び付け

日本の伝統文化への理解を深めてもらおうと、国際ソロプチミスト袋井と袋井国際交流協会が実施したもので、まずはスタッフの手伝いで参加者は浴衣に着替え。その後、短冊に願いを書いて笹に結び付けたり、東海道どまん中茶屋を訪れて冷たいお茶をいただいたり、記念撮影をしたりと、日本の夏ならではの体験を楽しみました。

街の写真館 続き



ご機嫌いっちゃん

お昼寝から起きて、ミルクも飲んだ後は気持ちがいいね^^

いつき 堀内 幾月くん



来年は食べたいね

いちごを買いに行って、いちごみたいなタンクの前で撮りました。来年は食べられるといいね。

おと 林 和杜くん



バラきれいだね

きれいなバラの中で、たかいたか〜い。楽しいね〜！

とあ 広瀬 叶采ちゃん